



議会だより

ハートがふれあう住民自治のまち



神河町
マスコット
キャラクター
「カーミン」

かみかわ

第 67 号

令和 3 年 4 月 15 日



第100回神河町議会記念講演会
(令和3年4月14日 グリンデルホール)

令和3年度予算	2 ~ 3
予算・議案審議の様子	4 ~ 8
委員会の活動	9 ~ 11
3人が登壇 いっぱん質問	12 ~ 15

一般会計予算 77億6000万円

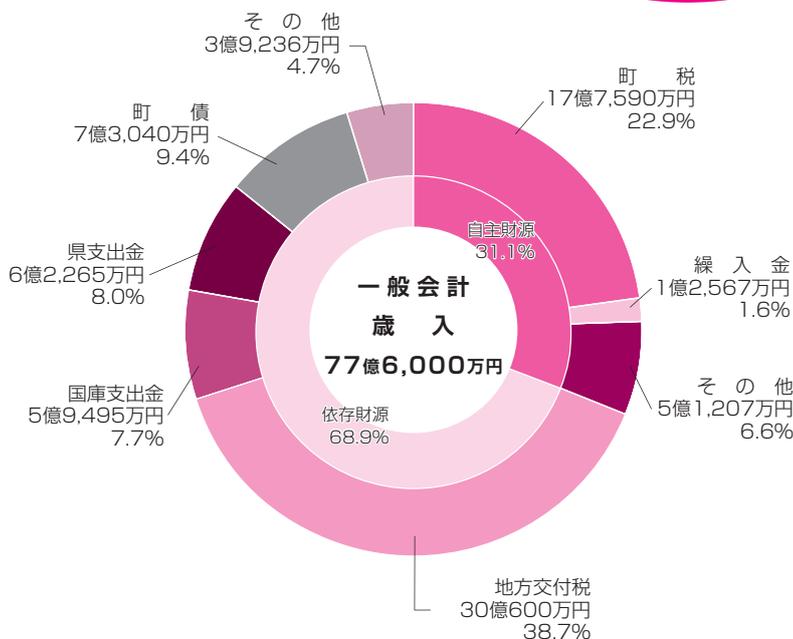
(前年度比5.5%減)

令和3年度

歳入概要

- 町債、県支出金、交付税等の依存財源は前年度より3億3814万円の減。
- 自主財源の繰入金は前年度より8800万円の減、町税は1852万円の減。
- 一般財源の不足は基金の繰入金や地方債等で財源確保。

入るお金



町税の状況

(単位：千円)

款	項	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増減額
1 町税	1 町民税	474,743	512,220	△ 37,477
	2 固定資産税	1,199,980	1,179,339	20,641
	3 軽自動車税	44,257	44,041	216
	4 町たばこ税	56,602	58,346	△ 1,744
	5 鉱産税	321	480	△ 159

(一般会計)

神河町人口 (R3.3.31 現在) 10,997 人	町債残高(借金)	134 億 9,694 万円	財政調整基金残高(貯金)	10 億 8,094 万円
	町民一人あたり	122 万 7,300 円		9 万 8,300 円

3月定例会は、記念すべき第100回目の定例会となりました。3月2日に招集され、25日までの24日間の会期で開催されました。

各委員会報告、諸報告に続き、主な議案として、条例の廃止及び一部改正13件、令和2年度補正予算10件、令和3年度当初予算13件、総合整備計画の策定7件、さらに男女共同参画推進計画等の6件の計画策定が提案されました。その他の議案も含めて計72件の議案について慎重に審議を行い、いずれも原案のとおり可決・承認しました。

一般会計当初予算は77億6000万円となり、前年度より4億5500万円(5.5%)の減となりました。

また、一般質問は、3人の議員が行いました。今回の定例会も、新型コロナウイルス感染症予防対策のため傍聴は控えていただき、ケーブルテレビ中継での視聴をお願いしました。

アイデアと工夫で

やさしく元気な町づくりを

歳出概要

- 子育て世代への支援、高齢者福祉、地域経済の活性化、安全安心のための事業など生活に必要な不可欠な行政サービスの確実な予算。
- 国の地方創生臨時交付金を活用して、新型コロナウイルス感染症や地域経済に対応した事業予算。
- 効率的な財源充当で計画的に実施可能なものを事業化し、予算総額の縮小。

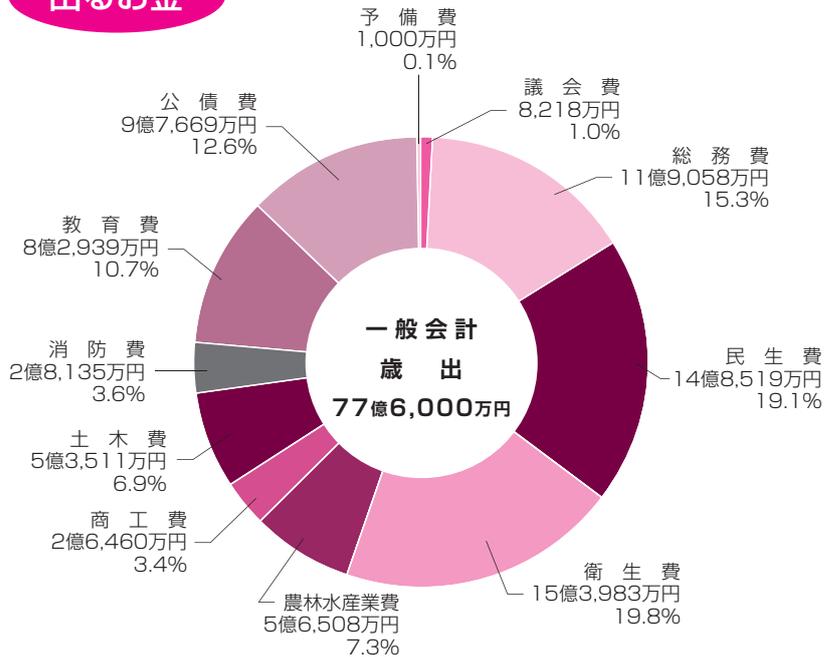
令和3年度 会計別当初予算額の状況

(単位：千円)

会計区分	総額	
一般会計	7,760,000	
特別会計	介護療育支援事業	59,011
	国民健康保険事業	1,303,097
	後期高齢者医療事業	186,308
	介護保険事業	1,499,142
	土地開発事業	86,672
	訪問看護事業	139,553
	産業廃棄物処理事業	6,141
	寺前地区振興基金	8,943
	長谷地区振興基金	3,519
	企業会計	水道事業(3条支出予定額)
下水道事業(3条支出予定額)		618,389
公立神崎総合病院事業(3条支出予定額)		3,503,700
合計	15,607,787	

*企業会計の3条支出予定額とは収益的収支予算(経営本体の事業予算)の支出予定額のことを指す。

出るお金



令和3年度 主な新規事業

○幼児教育活動継続支援事業 136万円
(コロナ禍での園児の保育環境整備)

○感染症対策健康づくり事業 355万円
(運動不足の解消・心の健康づくり)

○インフルエンザ予防接種推進事業 1344万円
(コロナ禍での季節性インフルエンザ予防対策)

○特定不妊・不育症助成事業 135万円

○地域再生可能エネルギー導入等戦略支援事業 1000万円
(再生エネルギーの導入検討及び温室効果ガスの削減への取組の計画)

○ローカルSDGs推進事業 137万円
(神河町版のSDGs啓発活動推進)

○営農継続支援事業 2200万円
(コロナ禍の農作物価格下落の補填)

○農村地域防災減災事業 2300万円
(ため池廃止実施設計・定期点検)

○休業要請事業者経営継続支援事業 604万円

○新型コロナウイルス対策商工業者等支援事業 1100万円

○商店街お買い物券・ポイントシール事業 1793万円

○感染症対策防災安全安心確保整備事業 450万円
(災害時の感染予防対策)

○スクール・サポート・スタッフ配備事業 320万円

小学校 110万円
中学校 110万円

予算審議 主なQ&A

一般会計

歳入

Q 教育使用料の温水プール使用料だが、年会費の改定により、増額されると思っていたがどうか。

A 使用料改定については、利用者の理解と地元との調整を行い、役場内で協議し進めていきたい。

Q 総務管理費県委託金の地域再生協働員設置業務委託金251万3000円の計上だが、令和2年度は98万3000円であり、大幅な増額の要因は。

A 町として大きな課題である関係人口増の取組として、これまでに小規模集落元気作戦に取り組んだエリア内で調整

の結果、根宇野区のユズ等の生産で人手不足解消の一助として地域おこし協力隊アドバイザー部分に充当する。

Q 教育費県補助金の小・中学校費補助金のスクール・サポート・スタッフ配備事業と部活動指導員配置事業は町からの配置要望に対しての上限等が決まっているのか。

A スクール・サポート・スタッフは、小・中学校1校当たり1人の要望を行ったが、町全体で1人しか配置されなかった。

コロナ対策の消毒、授業の準備やプリントの印刷など教師の業務量の軽減が図られ、よい制度なので、町の財政との調整で増員できればと考えている。部活動指導員の募集はしていなかったため、今後、取り組む。

歳出

総務費

Q 企業誘致事業は、コロナ禍にあつて感染者数の少ない神河町にとってチャンスである。誘致事業予算を増額するぐらゐの意気込みが必要ではないか。

A 限られた土地の中で農地の保全も考慮した適地選定が大きな課題である。居住は豊かな自然の神河町、勤務地は通勤圏内の他市町というのも選択肢の1つである。

Q 消毒液等消耗品で500万円計上されているが、なぜ今さらマスク・消毒液の全戸配付を行うのか。たとえ1000円でも商品券のほうが有効ではないか。

A 新型コロナウイルスは終息していない。各戸に50枚入りマスク1箱と消毒スプレー1本の配付を予定している。4月下旬に町職員による一斉行動日を設けて配付できないかと考えている。

Q シングルマザー事業が予算上なくなっているが、今後の予算と展開は。

A これまで20組59人の受入れを行った。令和3年度予算で多自然居住業務委託料749万5000円を計上しており、移住・定住後の支援を行う一般社団法人に業務委託を行う。シングルマザー移住支援協議会で雇用している2人と役場で雇用している移住コーディネーターを柏尾地内にある拠点施設に配置し、事業展開する。

民生費

Q コロナ禍での地域力の低下、コミュニティの崩壊への対策を町が先頭になって進めてほしいが。

A 介護予防を主眼としてミニデイや各地区で行われている集いの場、サロンに積極的に講師等を派遣し、体操指導等を行っている。今後も継続していく。

農林水産業費

Q 営農継続支援補助金の対象者は。

A 認定農業者、認定新規就農者等の方々が対象。水稲は営農組合、営農法人、認定農業者等で23、小豆は同様に16の組織、法人を見込んでいる。

Q 元気森もり活動推進事業補助金は生産森林組合の支援がメインだが、各集落内の桜の剪定は補助対象になるのか。

A 山の保全に重きを置いている。間伐が進めば桜の剪定等にも補助を広げていけると考えている。

Q この補助事業は森林のみならず里山や鎮守の杜など広い範囲の適用が可能である。令和3年度予算には18団体260万円が計上されているが、要望があったのか。

A 新年度の区長会等で説明し要望を聞く。計上しているのは町の見込みによるものである。

商工費

Q 川の駅の予算が昨年度比で60万円増加している理由は。

A 昨年8月、観光客で川の駅周辺が渋滞し、周辺に迷惑をかけた。

夏休み期間中の土・日、お盆に警備員を配置するための経費である。



越知区 川の駅周辺

消防費

Q 防災無線の不具合に対応する備品購入費の財源に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充てるのはいかなるものか。

A コロナ対策、緊急災害対策として、いち

早く住民の皆様到的確な情報を発信するために必要であると判断している。

一般会計総括

Q 昨年度までは「日本の学校づくり事業」があったが、常任委員会資料から記載がなくなっている。達成できたということがあるか。

A 名称変更して「ふるさとかみかわつ子事業」として神河町ならではの教育（スキー教室やふるさと学習）に取り組みたい。世界に羽ばたけるような子どもたちを育てたい。

Q 固定資産税が昨年度より2000万円増えているが、土地、家屋、償却資産それぞれの増減の大きな要因は。

A 償却資産は関西電力の大河内発電所の大規模設備更新により増額。家屋は横ばい。土地は令和3年度評価替えにより365万円の減額である。

反対討論

藤森 正晴

3k 対策予算の充実を

1k コロナ臨時交付金を活用しての感染症対策・地域経済対応・福祉事業には理解できるが、支援もなく本当に困っている方々への対策がない。

2k 過疎対策が見えない。9年ぶりに長谷駅に、全列車が停車するようになった。明るい話題であるが、過疎が解決したわけではない。越知谷小学校の閉校により、大畑・越知が辺地債適用地域に指定された。このままでは過疎は進むばかりである。何か対策を。

3k 企業誘致候補地を整備しての体制と積極的に営業する予算を組むべきである。40年先の人口は6000人台の想定であるが、そのままの未来像を描くのか。今、地方・田舎暮らしが見直されている。自然を活かし、地域の良さを見出し、他にないまちづくり予算を組み、人口減少対策を。

介護保険事業特別会計

Q 訪問看護師・訪問介護員安全確保・離職防止対策事業補助金の内容は。

A 訪問介護員等が1人で訪問し、暴言・暴力を受ける場合もある。2人で訪問したときに保険者が危険と認めた場合の補助金である。

の更新を6〜7本程度発注している。

下水道事業会計

Q 一般会計からの繰入基準は。

A 次の3点である。
①高資本費対策に要する経費②企業債の利息の補助分③分流式の下水道等に関する経費。これまで4億円の繰入金だったが、令和3年度は4000万円減額して繰入れる。

産業廃棄物処理事業特別会計

Q 令和3年度から、家庭から排出される残土砂等の持ち込みは、1トン以内となる。1軒の家屋を解体すると1トン以上の残土砂が出るようになるが、解体業者への処分先の啓もう・啓発は。

A 解体業者には、近隣の市町の処理場を確認し案内する。

公立神崎総合病院事業会計

Q 病院の経営形態の見直しに係る検討委員会が設置されているが、方向性は。

A 町はできるだけだけの支援をしていくし、病院もできるだけの経営改善に取り組んでいく。経営形態の見直しも視野に入れ、2、3年の間に方向性を出していく。

水道事業会計

Q 配管の故障状況と年間の修理件数はどのくらいか。

A 2000件前後である。40年以上経過の管路が多い。年間約1km未満

議案審議

専決処分

令和2年度一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出それぞれ540万円を追加し、総額を101億4815万9000円とするものです。

新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、営業時間の短縮に協力された事業者に協力を支給することによるものです。

人事

農業委員会委員の任命に係る認定農業者等の過半数要件例外適用の件

認定農業者等が委員の過半数を占められない場合は、例外が認められており、農業委員の4分の1以上を認定農業者等、またはこれらに準ずる者で構成することに同意しました。

農業委員会委員の任命の件

次の14人の農業委員の任命に同意しました。

藤田憲一氏	(越知)
小林秀恒氏	(岩屋)
廣岡典幸氏	(山田)
大成正悟氏	(中村)
廣納正氏	(寺野)
河合敏雄氏	(東柏尾)
前川豊氏	(吉富)
戸田良一氏	(大山)
高橋正光氏	(比延)
石堂美樹氏	(鍛冶)
加門和弘氏	(宮野)
岸本高明氏	(上小田)
立垣昇氏	(長谷)
高内清氏	(長谷)

条例の廃止

〔越知谷アクティブセンター及び越知谷町民プール設置条例〕

校舎・園舎等の土地及び建物を民間事業者に貸し付けることが決定したため廃止するものです。

条例の一部改正

〔ケーブルテレビネットワーク設置条例〕

法定利率の改正に伴い、ケーブルテレビ使用料及び手数料の遅延損害金の加算率を、5%から3%に引き下げるものです。

〔職員の特殊勤務手当に関する条例〕

新型コロナウイルス感染症が長期に継続すると予測されるため、特殊勤務手当の支給期限を削除するものです。

〔介護保険条例〕

65歳以上の第1号被保険者の令和3～5年度の介護保険料の月額基準額を、100円引き上げ、5900円とするものです。

〔町営住宅設置条例〕

法定利率の改正に伴い、遅延損害金の加算率を、5%から3%に引き下げるものです。

財産処分案件

①旧越知谷小学校・幼稚園等の土地及び建物を、但馬米穀(株)に10年間貸し付けるものです。

「未来型の総合農業研究センターの構築」を目的として活用するもので、施設栽培型農業用ハウス・無農薬屋内水耕栽培・農業関連資材・次世代スマート農業機械・水中ドローン・空中ドローンの研究開発などを実施される予定です。

②旧地域交流センターの土地及び建物を、ゲートウェイアジア合同会社にて10年間貸し付けるものです。

外国人技能実習生や留学生のための各種研修事業「神河国際アカデミー」を実施される予定です。

〔公の施設(わくわく公園)の指定管理者指定の件〕

指定管理者を(株)長谷に決定しました。指定期間は、令和3年4月1日から1年間です。



旧地域交流センター



旧越知谷小学校・幼稚園

辺地に係る公共的施設の 総合整備計画の策定の件

- 作畑・新田の計画は、町道作畑新田線整備、橋梁長寿命化修繕、林道黒川新田線整備事業。
- 大畑の計画は、町道岸の谷線・仲田線整備、橋梁長寿命化修繕事業。
- 上越知の計画は、町道上越知1号線・2号線、林道越知ヶ峰線整備、橋梁長寿命化修繕事業。
- 越知の計画は、町道上越知1号線・西別1号線・川井線・川井支線整備、橋梁長寿命化修繕事業。
- 奥猪篠の計画は、町道猪篠線整備、橋梁長寿命化修繕事業。
- 上小田の計画は、町道峰山線整備、橋梁長寿命化修繕事業。
- 川上の計画は、町道川上幹線・川上太田ダム線整備、橋梁長寿命化修繕事業。

中播北部行政事務組合規 約の一部変更について

次期ごみ処理施設の建設用地が決定し、今後は郡内3町共同で様々な事務処理を進めていきます。新たに福崎町が加入するため、規約の一部を変更するものです。

町道路線の廃止及び認定

町道神崎市川線及び支線の道路新設工事が完了したことにより、既存の福山2号線を廃止し、支線の一部(376m)を町道認定し、「町道福山2号線」とするものです。



町道福山2号線

令和2年度一般会計補正 予算(第9号)

歳入歳出それぞれ2882万円を追加し、総額を101億7697万9000円とするものです。繰越明許費として11事業を繰越予定とし、各事業費の確定見込みと国の第3次補正に対応するための増額等によるものです。

令和2年度一般会計補正 予算(第10号)

歳入歳出それぞれ600万円を追加し、総額を101億8297万9000円とするものです。新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業のシステム導入委託料の増額等によるものです。

計画の承認

〔第2次男女共同参画推進計画〕

一人一人が、夢や希望を持ち、誰もが輝くことのできる社会を創出するためには、性別に関わり

なく、互いに人権を尊重し合いながら個性と能力を十分発揮できる男女共同参画社会の実現への取組が一層求められています。社会情勢の新たな課題に対応するため、これまでの取組の成果や現状を踏まえて策定したものです。

〔第3期教育創造プラン(教育基本計画)〕

これまでの成果と課題を検証するとともに、改善すべき点、継承すべき点を明確にし、第2次長期総合計画を踏まえて、教育全般に関する政策を推進していくために策定したものです。

〔土地利用計画〕

豊かな自然と美しい里山景観・農地の保全を基本とし、行政・商業・医療・教育などの施設が集積された中心部や各地域の拠点において、さらなる機能強化と集約を図り、活力維持のための地域づくりを目指すために策定

したものです。

〔第3次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)〕

地球温暖化対策推進法に基づき、温室効果ガスの排出量の削減と吸収作用の保全及び強化に取り組むために策定したものです。

〔高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画〕

第2次長期総合計画の6本柱の一つである「安心して暮らせる環境をつくる」を実現するため、高齢者福祉の基本的な考え方及び介護保険事業の円滑な運営を行うための施策を示すものです。

〔第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画〕

第2次長期総合計画を踏まえて、①障がいのある人も暮らしやすいまち②地域で支え、ともに暮らせるまちを具体化するための障害者福祉の基本的な考え方及び施策を示すものです。

議案等の審議結果 ◆全員賛成で可決した議案等◆

報告番号	件名
第1号	専決処分の報告の件（交通事故に係る損害賠償の額の決定及びその和解）

議案番号	件名
第1号	専決処分をしたものにつき承認を求める件（令和2年度神河町一般会計補正予算（第8号））
第2号	神河町農業委員会委員の任命に係る認定農業者等の過半数要件例外適用の件
第3～16号	神河町農業委員会委員の任命の件
第17号	神河町越知谷アクティブセンター設置条例を廃止する条例制定の件
第18号	神河町越知谷町民プール設置条例を廃止する条例制定の件
第19号	神河町ケーブルテレビネットワーク設置条例の一部を改正する条例制定の件
第20号	神河町職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第21号	神河町地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第22号	神河町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第23号	神河町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例制定の件
第24号	神河町介護保険条例の一部を改正する条例制定の件
第25号	神河町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
第26号	神河町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
第27号	神河町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
第28号	神河町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
第29号	神河町営住宅設置条例の一部を改正する条例制定の件
第30～36号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定の件
第37号	中播北部行政事務組合規約の一部変更について
第38号	神河町町道路線の廃止の件
第39号	神河町町道路線の認定の件
第40号	神河町公の施設（わくわく公園）の指定管理者指定の件
第41・42号	財産処分の件
第43号	令和2年度神河町一般会計補正予算（第9号）
第44号	令和2年度神河町国民健康保険事業特別会計補正予算（第6号）
第45号	令和2年度神河町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第4号）
第46号	令和2年度神河町介護保険事業特別会計補正予算（第5号）
第47号	令和2年度神河町訪問看護事業特別会計補正予算（第4号）
第48号	令和2年度神河町産業廃棄物処理事業特別会計補正予算（第2号）
第49号	令和2年度神河町寺前地区振興基金特別会計補正予算（第1号）
第50号	令和2年度神河町水道事業会計補正予算（第5号）
第51号	令和2年度公立神崎総合病院事業会計補正予算（第4号）
第53号	令和3年度神河町介護療養支援事業特別会計予算
第54号	令和3年度神河町国民健康保険事業特別会計予算
第55号	令和3年度神河町後期高齢者医療事業特別会計予算
第56号	令和3年度神河町介護保険事業特別会計予算
第57号	令和3年度神河町土地開発事業特別会計予算
第58号	令和3年度神河町訪問看護事業特別会計予算
第59号	令和3年度神河町産業廃棄物処理事業特別会計予算
第60号	令和3年度神河町寺前地区振興基金特別会計予算
第61号	令和3年度神河町長谷地区振興基金特別会計予算
第62号	令和3年度神河町水道事業会計予算
第63号	令和3年度神河町下水道事業会計予算
第64号	令和3年度公立神崎総合病院事業会計予算
第65号	令和2年度神河町一般会計補正予算（第10号）

承認番号	件名
第1号	第2次神河町男女共同参画推進計画の策定の件
第2号	神河町第3次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定の件
第3号	神河町土地利用計画の策定の件
第4号	第3期かみかわ教育創造プラン（神河町教育基本計画）の策定の件
第5号	神河町高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画の策定の件
第6号	神河町第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画の策定の件

◆賛否の分かれた議案◆

議案番号	件名	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
					安部	三谷	欠番	小寺	吉岡	小島	欠番	藤森	藤原裕	栗原	澤田	廣納
第52号	令和3年度神河町一般会計予算	8	1	可決	○	○	-	○	○	○	-	×	○	○	○	-

○は賛成、×は反対です。12番の廣納議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。

3番、7番は欠番となっています。

委員会の活動

3か月ごとに、各課事業の進捗状況と重要事業の調査をしています。

総務文教

2月16日開催

会計課

令和3年1月末の現金等保管総額は、49億4833万2349円です。同時点の一時借入金と一時預貯金額は、ともに1億円でしたが、2月16日時点では一時借入金が5億円となっています。

指定金融機関の事務取引に関する契約書に基づき、公金の定期検査が2月9日にJ A兵庫西寺前支店で実施されました。関係帳簿、収納・支払事務、証拠書類の整理・保管状況等は、適切に処理されていたと報告を受けました。

教育課

長谷幼稚園は、令和3年度の入園希望者を募っていましたが、希望者が多かったため、令和3年度も休園します。

旧大山小学校校舎ほかの解体撤去工事におけるアスベスト撤去作業は、環境調査の結果、外部には漏れずに施工ができていたとのこと。旧上小田小学校の活用で、指定管理者の㈱Dr eamaway(ドリーフェウェイ)が、今年4月からリースクールを開設されるとの報告を受けました。

指定管理契約に基づいて、施設の適正な維持管理を行うように要望しました。

中央公民館・神崎公民館・きらきら館の図書の出借予約、借りている本の返却期限の確認等がインターネットでできるサービスを、2月16日から開始しています。

総務課

町職員の人事評価については、管理職員を対象に12月の勤勉手当に反映し、令和5年1月から昇給に反映させるということです。一般職員は令和6年度以降になる予定です。

町内河川の水位計・監視システム7か所について、停電した後、自動的に復旧するブレーカーに取り換ええました。これにより、15か所すべて対応できたと報告を受けました。

学校等の跡地活用の契約候補事業者について、旧越知谷小学校・幼稚園は但馬米穀㈱に、旧地域交流センターはゲートウェイアジア合同会社が選定されました。

Q 旧越知谷小学校の地元利用要望や避難所としての使用についての協定の内容は。

A 体育館と運動場の地元優先利用は、公募時の条件としたので、協定書に盛り込んでいる。

幼稚園舎と図工室、家庭科教室の地元利用の要望については、契約候補事業者から解放するとの了解を得ているので、今後、詳細を決めて対応する。

Q 神河町のインターネットの通信速度が遅ければ、新しい生活様式やIT事業への対応など、企業誘致の面からも、検討が必要では。

A インターネットは、企業活動や個人活動には、なくてはならないツールで、早い速度の環境を用意しなければならぬ。しかし、ユーザーは、高くても速いものを選びたい方もおられるし、少々遅くても安いほうが良い方もおられる。料金と速度・サービスのバランスが必要で、運営業者と協議したい。

税務課

収納率向上のために取り組んでいる口座振替による納税は、税全体で46.

5%となっています。そのうち、固定資産税は66.9%で、前年より約15%伸びています。

固定資産税の住宅用地について、居住用の家屋が建っている宅地は、敷地の200㎡以下の部分は固定資産評価額の6分の1、200㎡を超える部分は、評価額の3分の1で課税するという特例があります。令和3年度の固定資産税評価替えに向けての準備作業の段階で、この適用に一部誤りがあることが判明したため、この錯誤による還付分を、令和3年度当初予算に計上して、遡って還付することです。

適用誤りの原因は、事業用の倉庫などの建物が建っていて、非住宅用地として課税していた土地が、その後に居住用家屋に用途変更され、その更新事務ができていなかったケース等が考えられるとの説明がありました。

2月10日開催

公立神崎総合病院

新型コロナウイルスのワクチン接種を希望する病院職員の割合は、

対象者は330人程度で、希望者は300人程度。妊活等で接種を希望しないケースがある。

公立神崎総合病院の一番の弱点は、人件費比率が他の公立病院と比較し、高いことである。99%にもなる。経営改善は当然のこととして、経営形態の見直しも進めていくべきでは。

人件費比率が高いのは指摘のとおりだが、当院は医事課、給食課が直営ということもある。単価の低い外来の制御が難しい面もあり、コンサルや学識経験者に経営改善の意見を求める。

また、経営形態の見直しの準備は進めている。

健康福祉課

新型コロナウイルス ワクチン

接種について

3月中旬に高齢者に接種券を郵送予定だが、接種の順番は、また、区ごとの割り振りになるのか。

接種券の郵送後、町民から電話かインターネットで申し込んでもらう。申込者には予診票を送付する。専用の電話を2台開設する。接種日は自分の受けた日を選択できるような形を考えている。

4月5日に健康福祉課に尋ねたところ、65歳以上の町民への接種券の発送は4月中旬には完了できるとのことでした。

高齢者施設の入所者と寝たきりの方への対応は、

施設入所者の場合は、本人または家族同意の上、主治医に施設で集

団接種してもらう予定。寝たきりの方の場合は、デイサービスで施設に行かれた際に接種してもらうよう施設側と調整する予定である。



ワクチン接種の様子

接種会場は公立神崎総合病院と神崎支庁舎の2か所とのことだが、神崎支庁舎を大河内保健福祉センターに変更できないか。

神崎エリアにも大河内エリアにも接種会場があるのが理想だが、次の2点により、神崎支庁舎とした。①マイナス75℃を保てる冷凍庫（デュープリーザー）とワクチンの管理のため保健師が常駐していること。②確率は低いですが、接種後にアナフィラキシーショックの症状が発生した場合に備え、公立神崎総合病院に近いこと。

住民生活課

中播北部行政事務組合に今後、福崎町が加入することになるが、市川斎場に関する福崎町議員に議決権があるのはおかしい。市川斎場に関する議決権はないと規約に明記するのは法的にどうなのか。

兵庫県市町振興課に確認したところ、組合議会に議員として出席する以上は議決権があるとの見解。市川斎場に関する審議をする際、神河・市川の両町が賛成の際は、事務局長から何らかの形で福崎町議員に配慮していただくようにするとのことである。

粗大ごみの収集をしていないのは、県内では神河町と市川町の2町のみという調査結果だったが、今後収集を実施する方向なのか。

何らかの方法で実施すべきと考えている。集落の空き地を利用して回収する場合、そこまで運べない高齢者世帯等の対処をどうするかが課題である。地域の方の協力で集積場所に持って行く支援が受けられないか等模索している。

上下水道課

令和元年度の漏水修繕件数は197件であったが、町水道の全使用量の何%ぐらいが漏水しているのか。

浄水場から出た水の総量と請求する水量から算出する有収率があり、神河町は62%ぐらいである。有収率の良い自治体は90%台というところもある。80%台を目指して管路工事を行っているが、老朽化が激しいため、この修繕件数になっている。

産業建設

2月3日開催

地域振興課

《農林業係》

Q スマート山村促進事業に多くの申請があり、抽選の結果、2地区が落選となっている。林業施策は、神河町にとって重要な施策なので、何とか落選した2地区にも補助できないか。

A 新年度の事業も含めて検討する。

《商工観光係》

12月現在の観光施設等の入込状況は、前年度比19%の減で、宿泊施設・飲食関係は激減しており、非常に厳しい状況が続いています。8月以降は、

感染リスクの低いアウトドア施設への関心が高まり、前年度並みもしくはそれ以上となっています。スキー場においても、

オープンから年末年始は多くの人で賑いましたが、今回の緊急事態宣言以降、

入込客数は減少し、苦戦しています。

また、砥峰高原においては、前年度比36%の増で、初めて年間10万人を超えました。

Q コロナの影響で、特に飲食店は、外出自粛の影響を受けている。現在の町内の事業所の状況を、商工会等と連携してどのように把握しているのか。

A 商工会とも協議しており、今後については、販路拡大や新しい事業への取組等の要望が多く出てきており、補正などで対応していきたいと考えている。

Q 交付金について、商工関係へはどのようなに生かすのか。

A 商工会のハートフル商品券のプレミアム部分を上乘せする等、検討している。

ひとまち・みらい課

Q 作畑のイチゴハウスの復旧が、11月完成予定であったが、3月末になった原因は。

A 下請けの部材供給会社倒産したこと、職人のほかの現場との兼ね合いで、工事の再開が3月以降になる。なんとか4月の定植に間に合わせたいと思っている。

Q コミュニティバスの運行見直しにより廃止となる福山団地・渚北の対策はどうするのか。廃止するならば、最低限の代替措置は必要だと思いますか。

A 廃止する路線は、利用がほとんどない状態である。長谷地区については、地域の中で動いているデマンド「お出かけ号」等でカバーしていただきながら、町として全体的な運行カバーを、専門家のアドバイスもいただきながら、できるだけ早く考えていきたい。

Q 路線廃止により、どのくらいの経費削減になるのか。

A 年間走行距離が約2万9000km減少する。令和2年度のkm当たり単価で考えると、約900万円の経費削減となる。

貸工場整備事業について

令和3年2月上旬に株式会社食品研究所と土地建物賃貸借契約を交わし、その後、株式会社食品研究所による内装、電気、機械設備工事が行われ、7月よりしいたけ菌床生産を本稼働する予定です。

地籍課

地籍調査は、計画どおり順調に進捗しています。

Q 地籍調査に、ドローンを活用する見込みはあるのか。

A 危険な箇所調査や杭の運搬等について、検討している。

建設課

町道神崎市川支線の工事は、貝野橋東交差点との接続工事で事業が完了します。福山川に架かる橋梁周辺安全対策（転落防止柵等の設置）を実施し、町道福山2号線の認定変更を行います。

Q あじさい橋（神崎公民館前）の出入口が、両脇の欄干で左右の確認がしにくいので、改善できないかとの声があるが。

A 出入口は一旦停止の標識があり、対面にはカーブミラーが設置してある。道路交通法を守り、左右を確認し、徐行すると安全かと思う。警察とも協議し、状況を踏まえて検討していく。



あじさい橋欄干

みなさんの

声

を

町政に

一般質問 は、住民から重大な関心と期待を持たれるもので、議員が執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求め、議員自らも政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。質問する議員は、町長に事前に質問内容を通告します。時間は質問、答弁合わせ1人1時間以内となっています。質問した議員それぞれが原稿を起こし、「議会だより」に掲載しています。(1人1ページ)

今回の登壇者は3人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項	ケーブルテレビ再放送日
13	吉岡 嘉宏 議員	①今後の新型コロナウイルス感染症対策について ②公立神崎総合病院の経営改善計画について	5月4日(火) 午後7:00~
14	安部 重助 議員	①防災行政無線安定放送と経費の抑制を問う	5月4日(火) 午後8:00~
15	小島 義次 議員	①安全に通学できる環境づくりを ②時代に即した防災体制について改めて問う ③地域包括ケアシステムは機能しているか	5月5日(水) 午後7:00~

主な議会日程

5月

12日(水) 産業建設常任委員会

21日(金) 総務文教常任委員会

24日(月) 人権文化推進特別委員会

26日(水) 民生福祉常任委員会

6月

7日(月) 議会運営委員会

11日(金) 定例会(提案・質疑等)

15日(火) 総務文教常任委員会
(付託議案)

21日(月)~22日(火)
定例会(一般質問)

25日(金) 定例会(採決)

※この日程は変更となる場合があります

本会議等の傍聴について

新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、しばらくの間、本会議等の傍聴については、できる限りお控えいただくようお願いいたします。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

◎今後の新型コロナウイルス感染症対策について
◎公立神崎総合病院の経営改善計画について



吉岡 嘉宏 議員

◎今後の新型コロナウイルス感染症対策について

Q ワクチン接種のスケジュールと内容は。

A 4月26日～30日の間に1箱約500人分だけが配付される。500人の対象者は①特養等の入所者、職員、社協のヘルパーで約230人。②65歳以上で身障手帳1、2級の方150人。③65歳以上で基礎疾患をお持ちの方120人を先着順で受け付ける。

Q 接種会場と時間帯は。

A 会場は公立神崎総合病院と神崎支庁舎の2か所。公立神崎総合病院で、月曜日から金曜日までの午後2時半から5時半まで。神崎支庁舎で、土曜日の午後1時半から4時までの予定である。

Q インフルエンザの予防接種のように、この新型コロナウイルス対策の予防接種は毎年実施されるのか。

A 令和3年度に続き令和4年度も実施される見込みが強い。それ以降は現時点では分からない。厚生労働省からの情報待ちであり、情報が入り次第住民の皆様には速やかにお知らせする。

Q 自家用車を持たない交通弱者のための手立ては。

A 選挙の投票時のように無料バスを考えている。また、車イス使用の方には社協と協議し、車イスで乗車できる車両での送迎を考えている。

Q 16歳未満の方への接種はどうなるのか。

A 現在予定しているワクチンはファイザー社製であり、16歳未満に対する治験が進んでいないため、16歳以上の方のみの接種を予定。今後の

状況を注視していく必要がある。

Q 公立神崎総合病院でのコロナ陽性患者の受入状況は。

A 約1年間で合計23名を受け入れた。住民の皆様にも強くお願いするが、患者様や第一線で働く病院職員への誹謗中傷は慎んでいただきたい。

Q 院内の受入体制は。（医療機器、人的体制等）

A 現在、4床で運用中である。他の患者と接触しないよう隔離と陰圧換気を併せた療養環境を整備した。関係スタッフにはマニュアル作成、防護着（ガウン）の着脱トレーニングなど徹底して取り組んだ。これらの効果で院内感染は全く発生していない。安心してご来院を。

Q 患者様と公立神崎総合病院関係者をコロナ差別から守るため「誹謗中傷を禁止する条例」

A の制定はどうか。内部で検討する。

◎公立神崎総合病院の経営改善計画について

Q 計画の進捗は。

A 増収対策と経費削減対策の2本の柱の中に具体的な項目を上げ実践してきた。経費削減効果は年約4000万程度だが「無駄遣いをやめた」程度のもの。求められているのは構造部分の改善で「経営形態の変更」の検討に入らざるを得ない。つまり、このまま公立病院で経営できるのか、地方独立行政法人化するなどにより、規模を身の丈に合わせるのかという選択肢について、ここ数年で判断することになる。

いずれにしても公立神崎総合病院の健全経営は医師を中心とする職員皆が「みんなで少しずつ我慢して乗り切ろう」という意思統一ができるかどうかにかかっている。

安全に通学できる環境づくりを



小島 義次 議員

町長

防犯上からも対策が必要であり、関係機関との連携を密にし、安全対策を講じていく



町道上岩宮野線の通学路部分

Q 横断歩道の白線の引き直しは何年ごとか。
A 住民生活課長 年数で決まるものではない。警察では優先順位が高い箇所から工事発注をしている。

Q 消えかかっている横断歩道の白線の引き直しは。
A 住民生活課長 P T Aや学校、地域から要望があった場合は通学路交通安全対策協議会で検討していく。

Q 町道上岩宮野線の通学路部分は狭くて危険度も高い。道路側線の引き直しはできないか。
A 建設課長 宮野・高朝田の区長とも協議し、対応を進めていきたい。グリーンベルト等も含めて前向きに検討する。

時代に即した防災体制について改めて問う

Q 防災備蓄品の数量や状態は十分か。また、避難所における新型コロナウイルス対策備品の有用性はどうか。
A 町長 災害発生時の避難所は、3密を防ぐために物資・資機材の準備や避難所運営の見直しが必要であり、必要な資機材は令和3年度予算にも計上している。避難所運営訓練も実施し、役場と地域の企業・事業所との間で災害時における各種の支援協定も締結している。

Q 防災特命参事 防災備蓄品の数量は、西播磨地域防災協定の目標数量以上を備蓄するよう努めている。新型コロナウイルス対策備品では県のガイドラインに基づいた物資を調達しており、感染症拡大のリスクを低減できると認識している。

Q 避難所への道順に住民の不安はないか。

例として避難所になっている中学校へ行くのに、上岩のローデッキスから中学校方向へは外灯が3カ所しかなく、夜は真っ暗である。歩道に外灯の設置が必要ではないか。
A 防災特命参事 避難ルートは、日頃からハザードマップで確認をお願いしている。指摘の箇所は、道路管理上からは街路灯の設置基準には当てはまらないが、区長を通じて防犯灯の設置基準にも照らし合わせながら検討していきたい。

地域包括ケアシステムは機能しているか
Q 地域包括ケアシステムの進捗状況は。
A 町長 地域包括ケアシステムは「住まい・医療・介護・予防・生活支援」の5つの柱で、構築を推進している。また公立神崎総合病院を中心に医療と介護の連携を構築中である。

A 健康福祉課特命参事 現在までの成果物と

して「医療と介護の資源マップ」認知症ケアネット「わたしノート」を作成し、利用者に配布している。介護予防としてボランティアによる体操教室・ほかから教室・集いの場の開催等で元気づくりを行い、生活支援協議体では地域で支え合う方法を検討している。支え合いは今後も多岐にわたって増えていくもので検討を重ねていきたい。

Q 生活支援協議体の設立が町内全区の半数程度だが、その原因は。
A 健康福祉課特命参事 現在の設立数は14地区である。区内の住民の人数減、高齢化等で新たな組織の立ち上げに苦慮されている。立ち上げが困難な地区にはブロック単位での構成も検討している。



まちかどインタビュー

第4回



取材日:2月21日

第4回は、山間地域で農業を営みながら、過疎地域であつても住みやすい環境作りに尽力され、地道な活動を続けておられる作畑の林幹雄さんにお話を伺いました。

趣味の写真にもこだわりを持ち、今までに新聞社主催のコンテスト等で多数受賞されています。また、「ぎやらりー&喫茶やまだ」では、作品展示会場として写真・絵画等の常設展が開かれています。



自己紹介をお願いします

農業高校卒業後、地元で酪農を4年余り経営しました。作畑での限界を感じ断念しました。その後、製造会社に37年勤め、現在は地域の活性化と農業を守り、生涯現役として頑張っています。



林 幹雄さん

越知谷地域の素晴らしいところは

何世代も受け継がれてきた先祖伝来の土地であり、地球上でここだけです。人々とのつながり、心許し合える、自然の中での生活が気に入っています。

ます。

取り組まれていることは

寒暖の差を利用した野菜作りや六次産業のコンニャクや大福餅作りです。

作畑（越知谷地域）で、

どうすれば農業が収入につながるかっていくかを考え、夏の野菜栽培の中でも、特にトマト・キャベツは涼しい気候を利用して時差出荷をしています。

また、地域の農業を守ることが自分の義務であるとの心構えで、一町五反ほどの稲作を引き受けています。もつと農業に魅力を感じてもらえるようにしたいですが、後を継ぐ若者がいないのが寂しいです。

苦労されたことなどは

60歳で定年退職を迎え、

本格的に農業を始めましたが、なかなか思うようにいきませんでした。完全無農薬としたいが、虫や草にやられたりして毎年試行錯誤の連続で、次はどうしたらという思いです。また、買っていたいた人に「おいしかったよ」と言われると嬉しいです。そこがやりがいというか、おもしろみかなと思います。

町や町議会に望むことは

議員さんも定員が12議席と少なく、町内を見て回るにも、意見を聞くのにもだれからも心やすく接しやすい議員であつてほしいです。

議会での質問も、町の考えを聞くのみでなく、議員として自分の考えも具体的に示し、活発に議論をしてほしいです。

町には、観光もいろいろ、限界集落化が進む地域の空き家・休耕田を利用して、農業を志す若者にも5年・10年単位の援助を望みます。

あとがき

春の気配もようやく整い、心浮き立つ今日この頃ではありますが、新型コロナウイルス感染症対策のワクチン接種が遅れ、東京オリンピック・パラリンピックの開催にも一抹の不安が残ります。

しかし、神河町のこれまでの感染者は兵庫県内でも1・2番を争うほど少なく、また神河町民は、ワクチン接種をする環境（公立神崎総合病院）にも恵まれております。

神河町議会も新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、早期に収束を図り、以前の活気あふれる神河町に戻るべく最大の努力をしまりますので、住民の皆様のご貴重なお意見やご感想をお寄せください。

(H・K)

広報公聴活動調査

特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 小島 義次 |
| 副委員長 | 吉岡 嘉宏 |
| 委員 | 藤森 正晴 |
| 委員 | 栗原 廣哉 |
| 委員 | 澤田 俊一 |